

PRESTO® A30

6リットルリアクターの冷却 +200 °C から +20 °Cまで

Objective

このケーススタディでは6リットルのガラスリアクターを使い、PRESTO® A30の冷却能力をテストします。PRESTO® A30は2mのメタルチューブによりガラスリアクターに接続されており、+200 °Cから +20 °Cに冷却する様にプログラムされております。

Environment

室温	+20 °C
湿度	45 %
電源	230 V / 50 Hz

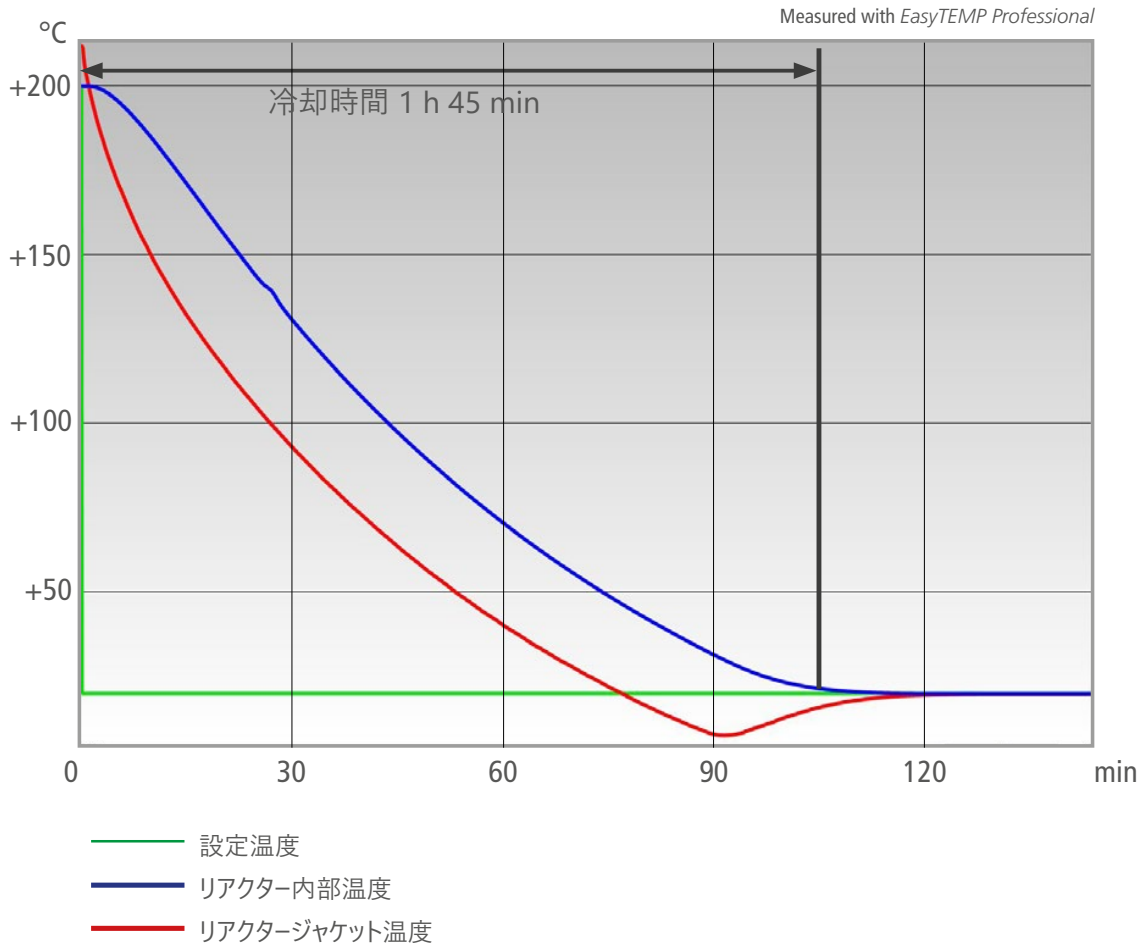
Test Conditions

JULABO ユニット	PRESTO® A30
冷却能力	+20 °C 0.5 kW 0 °C 0.4 kW -20 °C 0.2 kW
加熱能力	2.7 kW
バンドリミット	行わない
吐出圧	0.5 bar
循環液	サーマル HL60
リアクター	6 L ガラスリアクター (QVF) 循環液5 L のサーマル HL60
ガラスジャケット容量	4.5 l
温度コントロール	外部制御 (ICC)



Test Results

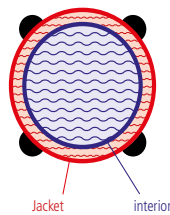
The PRESTO® A30 はオーバーシュート無しで+200°Cから+20°Cの冷却時間は1時間45分でした。



Tip

リアクター保護の為に“バンドリミット”機能を使用してください。リアクター内部とジャケット温度差を指定出来ます。

Profile of reactor



Tip

無償版EasyTEMPソフトウェアでPCによる装置のコントロールが行えます。温度曲線をグラフィカルに表示できます。

EasyTEMP

